

# 開設68周年記念熊本競輪 注目選手の横顔



### 和田 圭

派手さは無いがこつこつと努力する事で北日本を代表するスターに成長、記念・特別でも活躍していたが、花開いたのが4月の西武園記念、超スター平原康多・浅井康太・三谷竜生を相手に成し遂げた価値ある優勝こそが実力。



### 神山雄一郎

御存知の通りS級選手としての勝利数に、生涯賞金獲得高は他の追随を許さず独走中だけでなく、特別(GI)V16回の記録は宝物だが、残念な事に唯一無いのがGPのV、準Vは4回もあるのに、飽くなき執念で狙い続けるレジェンドは50歳でも超元氣。



### 桑原 大志

山口輪界を長い間支えて来た苦勞人は努力する事をいとわず、地味乍らSワンとして記念・特別で頑張っていたのが報われたのが昨年の京王閣ダービーの準V、これが決め手に成り平塚GPに出場。S級S班は名誉であり勲章の実力巧者。



### 石塚輪太郎

父(正浩・56期)の闘う姿に憧れて高校から自転車競技をスタート、恵まれた素質と環境でスクスク成長、妥協しない逃げを武器に今や記念・特別に欠かせない存在に。久留米は3月のF Iで渡邊雄太・早坂秀悟を相手に初Vを決めたバンク。



### 松川 高大

肥後の若大将も来年は三十路、家庭も2人の子供が居り円満なのに、足りないのは選手としての実績。恵まれた素質に溺れる事なく黙々と孤独な練習に打ち込んでるのは、何時の日かGP出場の夢があるからの事。地元記念Vに一路邁進。



### 柴崎 淳

浅井康太を輩出した県立朝明高校自転車部時代から素質は突出して通り、91期に合格して優秀な成績で卒業するや、抜群のダッシュを武器にS級それもトップの座に君臨、それなのに記念Vこそ3回あっても特別で物足りないのは淡泊な性格。



### 阿竹 智史

怪我には強い鉄人も7月青森の落車には参った様で、骨折した肩胛骨を手術した時に菌が入り再手術、それで復帰は遅れたが、入念なりハビリを続けた事で9月には実戦復帰、熊本記念には師匠の小倉竜二と元氣に参加の予定であれば。



### 南 修二

骨折した鎖骨の術後が思わしくないまゝ走ったオールスターで落車、又しても鎖骨々折しても平然として一ヶ月も休まず実戦に復帰するや、変わらぬ闘志溢れるプレーは尊敬に値するもの、熊本記念は昨年にも参加して優出果たしてるので今回も。



### 芦澤 大輔

普段は物静かな紳士なのに、いざレースと成れば眼は爛々と輝き戦士に変貌する本物の闘将。強く成るための努力は惜しまず、激しい運行に腰が耐え切れなく成り激痛に悩まされていても、弱音は一切吐かず結果を出すから不思議。



### 合志 正臣

小兵特有の痛烈差しと狭い所でも平気に突っ込んで行ける度胸で、2006年平全日本選抜を制しGPに出場、その年の岐阜共同杯のVに記念Vも数多いが、その代償が避けられぬ落車。昨年からずっと続いているが、其の都度跳ね返す熊本の闘将。



### 西川 親幸

8月には53歳を迎えても元氣さは変わらず、僚友島田竜二とジムでウエイト練習をやる傍ら、街道練習を日課にしている努力が1月小倉での最高年齢での優勝。この勢いなら還暦迄はS級で頑張ってるのではの超人、狙うは決勝進出。



### 横山 尚則

練習を趣味にしている超真面目な青年、今年はF I Vもあれば記念・特別でも印象強い活躍、単純に逃げるより位置を取っての捲りが勝利の戦法に成ってるが、男らしいのは昨年の久留米記念で長島大介にVをプレゼントした大逃走。今回も狙うは優出。

## 熊本記念出場予定選手 着度数・事故点・勝率・連対率・賞金と短評

級班	選手名	年齢	府県	期別	1着	2着	3着	着外	失格	勝率	連対率	賞金(万円)	短評
SS	桑原 大志	42	山口	80	1	2	2	10	0	0.066	0.200	1,749	努力すればGPの舞台に立てる事を立証した長州の侍は、決勝進出に執念。
SS	平原 康多	36	埼玉	87	3	2	2	4	0	0.250	0.416	5,116	実績・実力、そして立ち振る舞いと全てに選手の手本に成る偉大な男。
S1	西川 親幸	53	熊本	57	2	2	1	7	0	0.166	0.333	1,030	53歳とは思えぬ若々しい肉体は正に驚異、半端ない練習量で活躍は必定。
S1	神山雄一郎	50	栃木	61	2	1	1	5	0	0.200	0.300	1,283	引退する迄に悲願のグランプリVを達成して欲しいは、競輪ファンの願い。
S1	望月 永悟	41	静岡	77	0	0	3	10	0	0.000	0.000	939	努力と根性で頑張る清水の小政は、あまりにも多い落車事故がネック。
S1	小倉 竜二	42	徳島	77	3	3	5	6	0	0.176	0.352	2,067	怖れを知らぬ勝負根性と卓越したテクニックで、四国輪界を引っ張るリーダー。
S1	佐藤慎太郎	41	福島	78	4	4	2	3	0	0.285	0.571	2,620	競輪界を盛り上げるサービス精神の旺盛さは不変、狙うは熊本記念初V。
S1	中村 浩士	40	千葉	79	3	9	2	4	0	0.166	0.666	3,159	千葉輪界最高の功労者は本業の競輪でも獅子奮迅の活躍、優出有力候補。
S1	佐々木則幸	42	高知	79	1	2	1	9	0	0.076	0.230	1,235	選手としてもだが人間としても立派なS級戦士、地元共同杯好走で復活を。
S1	萩原 孝之	41	静岡	80	1	2	0	13	0	0.062	0.187	1,402	見た目は30歳そこそこの万年青年は、努力してるのか決め脚の鋭さは健在。
S1	合志 正臣	41	熊本	81	0	1	4	10	0	0.000	0.058	504	昨年から落車続きで体はボロボロでも、氣力にスランプ無しの闘将。
S1	佐々木雄一	38	福島	83	4	1	2	7	0	0.285	0.357	1,088	ダイエット効果で、往時の脚力が戻った何とも味がある北日本の実力者。
S1	笠松 信幸	39	愛知	84	0	1	1	12	0	0.000	0.071	1,623	熊本には兄と慕う熱心なファンが居る事で何時も以上に仕上げての登場。
S1	中川誠一郎	39	熊本	85	5	1	2	5	0	0.384	0.461	2,833	熊本競輪の顔は今年も健在、ワールドクラスのパワーで2度目の優勝。
S1	桐山敬太郎	36	神奈	88	1	1	3	9	0	0.071	0.142	1,614	ガッツ溢れるプレーでファンを魅了するハンサムレーサーは、氣持が凄い。
S1	南 修二	37	大阪	88	0	1	2	2	0	0.000	0.125	1,626	落車続きで満身創痍だけど、浪花のド根性者は骨折ぐらいは屁のこっぴ。
S1	柏野 智典	40	岡山	88	3	2	4	3	0	0.250	0.416	1,353	玄人受けするプレーで穴党ファンの人気は絶大、もつれた時は救いの神。
S1	山田 英明	35	佐賀	89	0	2	1	6	1	0.000	0.200	3,465	地道な努力が実を結び今や九州No.1レーサーに成長、実力でV奪取。
S1	飯野 祐太	34	福島	90	2	1	2	12	0	0.117	0.176	1,438	弟子の数なら若手No.1、面倒見の良さと練習量で4日間自力で頑張る。
S1	芦澤 大輔	36	茨城	90	4	1	0	7	0	0.307	0.384	1,574	持病の腰痛は精神力で克服する真のファイターは、玄人ファン好み。
S1	阿竹 智史	36	徳島	90	0	0	0	1	0	0.000	0.000	1,057	怪我に強い不死身の男は常に戦闘的で、前々勝負でファンを喜ばせる。
S1	松岡 貴久	34	熊本	90	1	3	0	7	0	0.076	0.307	1,206	地元記念は氣持が違うし、これ迄の不振を吹き飛ばす快走の予感。
S1	小野 大介	34	福島	91	0	2	3	10	0	0.000	0.133	857	北日本地区プロスプリントの王者は、一人で走れば強いんですよ。
S1	柴崎 淳	32	三重	91	4	1	1	9	0	0.266	0.333	1,936	逃げて強いが調子良い時の捲りの威力は、兄弟子浅井以上の迫力。